

市議会だより

http://www.city.shizuoka.jp/000_000260.html



「水と青と空間と」

自然の輝きに溶け込むような雰囲気の中、彩りを丁寧に抽出してみる。明暗のコントラストを自然が作り出す凹凸にのせ、目に飛び込む印象と同時にじっくりと眺めていられる写真を目指す。芹沢銈介への、猛烈なリスペクトとともに。

撮影地:静岡市立芹沢銈介美術館(石水館)

撮影者:萩原和幸氏(日本写真家協会会員)

2月定例会日程



※(1)補正予算議案等 (2)当初予算議案等 (3)追加議案① (4)追加議案②

目次

2月定例会の日程など	1面	常任委員長報告など	6面
2月定例会のあらし、代表質問など	2、3面	2月定例会提出議案の会派別賛否一覧など	7面
個人質問、主な議案など	4、5面	静岡市がん対策推進条例の制定、4月臨時会のあらしなど	8面

静岡市のココが聞きたい

総括質問

代

表

中山間地における今後の振興施策

自由民主党 静岡市議会議員団

質問 中山間地における今後の振興施策をどのように考えているか。

また、今後の賑わい拠点づくりにどのように取り組んでいくか。

答弁 静岡市オクシズ地域おこし計画を改定し、31年度から3つの施策①旧安倍6村と両河内地区における「賑わい拠点づくり」、②漆の生産という新たな産業を興し、地元で生産した漆を文化財の修復や伝統工芸に活用し、その価値を後世に伝えていく「漆の里構想」、③「森林環境譲与税(※1)」を活用した森林の整備や木材利用の推進によるオクシズの森林が持つ公益的機能の維持、を加え取り組んでいく。

また、今後の賑わい拠点づくりとして、①生活に必要な機能・サービスを各地区の中心集落に維持・確保すること、②自治会連合会やNPOなどを核とした地域課題の解決に取り組む体制をつくること、③中核施設へ住民生活や賑わい創出に必要な機能を集約し、あわせて施設のあり方や活用について地域とともに検討すること、の3つの方向性に基づき検討を進めている。



畑田 響 議員

今後も地域の活性化と多彩な地域資源の価値向上に取り組む、活気と賑わいのあるまちづくりを目指していく。

その他の質問

- ・第3次静岡市総合計画後期実施計画
- ・海洋文化施設
- ・中小企業・小規模企業振興条例
- ・今川義元公生誕五百年祭
- ・歴史文化施設
- ・児童虐待防止
- ・あさはた緑地の整備
- ・静岡南北道路
- ・歯と口腔の健康づくりの推進
- ・災害時における救助体制 など

市内経済の活性化

志 政 会

質問 大谷・小鹿地区の「工業・物流エリア(※2)」への企業立地ニーズはどれだけあるのか。

また、企業立地がスムーズに進むためにはどのようなことが必要か。

答弁 大谷・小鹿地区の「工業・物流エリア」への企業立地ニーズは、現在までの企業への聞き取り調査などの結果、製造業27社、物流業17社など、合計50社・60ヘクタールを超えるニーズを把握しており、高い関心が寄せられている。

今後、整備される約17ヘクタールの産業用地においては、過去の大規模な新規事業所の立地実績などに基づく算定によれば、約650人の雇用創出が見込まれる。

また、企業立地がスムーズに進むためには、地権者から企業への土地の売却や賃貸がポイントとなるため、地権者の取りまとめや、企業との交渉窓口などを担う組織の設置が必要となる。

今後は、このような組織が早期に立ち上がるよう、土地区画整理組合や地権者などに対するサポートを行っていく。



池邨 善満 議員

その他の質問

- ・市長の政治姿勢
- ・市の財政
- ・アセットマネジメント
- ・シティプロモーション
- ・清水港海釣り公園
- ・校務支援システムの活用
- ・「静岡市のお茶」の消費拡大
- ・本市への移住促進策
- ・高校生まちづくりスクール
- ・清水病院の経営強化
- ・災害ボランティアセンター
- ・業務継続計画(BCP) など

語句説明

(※1) 森林環境譲与税

2024年度から市町村は個人住民税と併せて年額1,000円を森林環境税として徴収する。これを一旦国に納めたのち、国が客観的な基準に基づき市町村、都道府県に譲与(配分)するもの。

森林現場の課題に早期に対応する観点から、森林環境税の徴収に先行して2019年度から交付される。

税収は、市町村が行う間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用並びに都道府県が行う市町村による森林整備に対する支援等に関する費用に充てなければならない。

語句説明

(※2) 大谷・小鹿地区の「工業・物流エリア」

駿河区の大谷・小鹿地区にある、東名高速道路の新スマートインターチェンジの供用が予定されている恩田原・片山エリア。

当該エリアでは、企業立地用地の創出を目的とした土地利用が先行的に検討されている。

2月定例会のあらまし

～ 31年度当初予算案を可決 ～

平成31年2月8日から3月20日までの41日間にわたって、2月定例会を開催しました。

定例会では、国の補正予算を活用した国道などの道路整備事業や小中学校校舎トイレの改修事業、清水港港湾整備事業負担金などを含む30年度補正予算、第3次総合計画後期実施計画の幕開けとなる年度であり、「世界に輝く静岡」の実現を目指す31年度当初予算などの市長提出議案170件と議員提出議案3件、請願2件を審議し、1件の陳情を審査しました。

2月21日には、田辺市長が施政方針を表明し、重点プロジェクトとして、交流人口の拡大、中小企業の振興や農業の活性化など「産業・経済の振興」に向けた取組を拡充する一方、感染症予防や医療費助成拡大など子ども・子育て支援の充実、自然災害から市民を守るための災害対応力の強化など「安心・安全の確保」に資する取組に対して必要な予算を確保するとともに、最重要課題である「5大構想」に位置付けられる諸事業に予算を手厚く分配するといった31年度当初予算編成の考え方を示しました。

また、施政方針を受けての代表質問と個人質問では、田辺市政2期8年間の成果、31年度予算編成、新清水庁舎建設事業などが議論されました。

最終日には、各常任委員会における議案の審査結果の報告を受け、すべての市長提出議案が全会一致または賛成多数で可決されました。

質

問

女性の活躍推進

公明党 静岡市議会

質問 女性が少ない業種等への女性参画や市内企業に女性管理職が少ないことに対して、どう取り組んでいくか。

答弁 女性が少ない企画開発部門の活躍事例を「見える化」するしずおか女子きらっ☆ブランド認定事業(※3)により、女性正社員が少ない業種におけるモチベーションアップや入社希望者の増加につながったと聞いている。今後は認定商品をさらに増やすとともに、口コミ効果の大きいイベントやインターネットを介して女性活躍事例をPRし、学生の地元就職や、各企業における女性の雇用・登用が進むよう取り組んでいく。

また、本市企業の管理的職業従事者に占める女性の割合は16%(平成27年国勢調査)といまだ低い状況にあるため、女性の就業継続や管理職比率の向上に向けて、異業種交流会「ダイバーシティin静岡」を開催することにより、キャリア意識の醸成、企業の垣根を超えたロールモデルの共有やネットワーク形成が進んでいる。

今後は参加企業の人事管理部門担当者の交流会も併せて開催し、女性活躍事例を共有するこ



大石 直樹 議員

とで、各企業の女性登用や人事制度改革を後押ししていく。

その他の質問

- ・SDGsの市政運営への反映
- ・連携中枢都市圏
- ・公共インフラなどの防災対策
- ・企業立地の推進
- ・農林水産支援
- ・子ども・子育て支援策
- ・学校施設の環境整備
- ・地域包括ケアシステム
- ・認知症対策
- ・救急医療体制の維持確保
- ・がん対策 など

語句説明

(※3) しずおか女子きらっ☆ブランド認定事業

女性が開発に貢献した商品等(モノだけでなくサービスも含む)のうち、先駆性の高い優れたものを「しずおか女子きらっ☆ブランド」に市が認定し、女性活躍の好事例として積極的にPRする。

平成31年3月1日、4日の2日間、代表質問を行いました。

代表質問は、4人以上の所属議員を有する会派が行うことができます。代表質問を行った4会派の主な質問と答弁の要旨を掲載します。

地域経済の振興

日本共産党 静岡市議会議員団

質問 静岡市中小企業・小規模企業振興条例案を検討する中で、どのように意見聴取を行い、どう反映したか。

また、条例制定後はどのように中小企業等の振興を図っていくか。

答弁 中小企業や小規模企業等を会員に含む市内8つの経済団体に対し、アンケート調査やヒアリングを行うとともに、パブリックコメントを実施した。この中で出された意見のうち、条例制定の意義をわかりやすく伝えるために前文を入れること、中小企業組合を振興対象とすること、創業やBCP(※4)への取組の支援など基本的施策を充実することなどを盛り込んだ。

条例では、中小企業等の役割の重要性を認識することや、市や支援機関等が連携し、市民の協力を得て一体となって振興を図ることなどを基本理念とし、効果的な振興施策実施のため、中小企業や支援機関等が一堂に会する会議を通じ、意見の聴取を行うこととしている。

条例制定を機に、中小企業等が将来にわたり持続的に発展し、市内で事業活動を継続していくこ



杉本 護 議員

とを目指して、オール静岡市で取り組み、条例で掲げる施策を実施していく。

その他の質問

- ・憲法改正など国政における市長の政治姿勢
- ・原子力発電
- ・市長と市民が対話する機会
- ・法人市民税の超過課税
- ・災害対策
- ・平和行政
- ・国民健康保険料
- ・エアコン設置などの教育施策
- ・アセットマネジメントの推進
- ・公契約条例 など

語句説明

(※4) BCP

事業継続計画(災害などの緊急事態が発生した場合に、企業や行政組織が基幹事業を継続、早期に再開するための行動計画)。

平成30年度 静岡市議会活動報告を公開しました

平成31年4月より『静岡市議会活動報告～静岡市議会基本条例に基づく取組～平成30年度』を市議会HPにて公開しています。この報告書は静岡市議会の30年度1年間の活動をとりまとめたもので、28年度から作成・公開を開始しました。

活動報告書では、静岡市議会基本条例の条文に沿って、本会議の議決状況や各委員会の活動状況(意見交換会等)、各種データ(傍聴者数、議会中継アクセス数等)等、30年度の静岡市議会の活動を掲載していますのでぜひご覧ください。

今後も議会の活動を積極的に発信し、市民の皆さんに身近な市議会を目指して参ります。

掲載ページ：http://www.city.shizuoka.jp/000_006439_00006.html

このほか、議会事務局、各区市政情報コーナーにて閲覧できます。

総合交通政策特別委員会が提言書を提出しました

総合交通政策特別委員会では、交通弱者への対応及び交通網の整備による地域活性化のため、平成29年7月から各地域の実情に合わせた総合交通体系のあり方に関する協議・討議・意見交換等を行い、「バス路線の利便性向上について」「郊外部・山間部と市街地との効率的なバス路線の接続について」「タクシーの公共的な活用について」「公共交通を取りまく環境の整備について」の4項目の提言をまとめ、1月28日に市長に提出しました。



総合交通政策特別委員会

清水都心まちづくり特別委員会が提言書を提出しました

清水都心まちづくり特別委員会では、清水都心及びその周辺地区の賑わい・交流を創出するため、清水港の魅力を活用したまちづくりのあり方に関する2年間の活動・研究結果を基に、①「JR清水駅周辺」では公共施設や都市機能の集積など便利で活気あるコンパクトシティの実現を図ること、②「日の出地区」では海洋文化拠点施設を設け民間施設と連携してクルーズ船客の滞在時間と消費の拡大を図ること、③JR清水駅周辺と日の出地区、両拠点とその周辺部を結ぶ交通アクセスの向上を図ること、などの施策を3つのエリアごと提言としてまとめ、2月5日に市長に提出しました。



清水都心まちづくり特別委員会

静岡市のココが聞きたい

個人質問



平成31年3月5日、6日の2日間、8人の議員が個人質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。

中央新幹線のトンネル等建設

質問者 松谷 清 (緑の党)

中央新幹線の本体トンネル、導水路トンネルなどの建設ルートがJR東海から示されたが、市が管理する河川に対してどのように対処していくのか。

答弁 JR東海が示した建設ルートには、その上を横断する形で県が河川法に基づき管理している西俣川、奥西河内川や、市が静岡市法定外公共物管理条例に基づき管理している東俣川、小西沢川、悪沢など数多くの河川が存在している。

今後、JR東海との協議の場で建設位置を明確にした上で、中央新幹線建設にかかる申請があった際には、条例で規定する範囲内で審査・検討を行い、河川等法定外公共物の管理上支障が生ずることのないよう対処する。

クラウドファンディングの活用

質問者 安竹 信男 (創生静岡)

中山間地域の住民がクラウドファンディング活用のノウハウを得ることで、より効果的な地域活性化事業の展開が可能になると考えるが、市はどのような支援策を考えているか。

答弁 中山間地域の取組にクラウドファンディングの手法を取り入れることで、多くの人の事業参加が可能になり、また、地域外の人々のオクシズへの関わりが強まり、イベント参画や起業など外部活力の展開が期待される。クラウドファンディングを成功させるためには、実施者の思いや理念へ共感する人をいかに集めるかが重要であり、支援したいと思ってもらえるようプロジェクトをより充実させ、魅力的に見せるノウハウが求められる。

活用を考えている人達に対してノウハウを持った専門家を派遣するなど、プロジェクトの魅力を高める支援を今後検討していく。

清水庁舎移転計画

質問者 内田 隆典 (共産党)

清水庁舎の移転計画について、基本構想からの見直しも含め再検討する考えはないか。

答弁 本市では、第3次静岡市総合計画を踏まえ、静岡市都市計画マスタープラン等の各種計画において、まちの拠点エリアへ必要な都市機能を集積し、様々なサービスを充実させるまちづくりを推進している。

この考えのもと、新庁舎は清水都心地区の江尻エリアに建設し、清水区のまちづくりの拠点として、賑わいの創出と地域経済活性化の起爆剤とするとともに、人々の命を守る防災の拠点として、災害に強い強靱なまちづくりの第一歩としていくこととした。

また、新庁舎建設にかかる基本構想・基本計画は、パブリックコメントなどの実施や検討委員会での議論を経て策定しており、再度検討する必要はないと考えている。

語句説明

クラウドファンディング

民間事業者などが行う事業に対し、インターネットなどを利用して、不特定多数の人から資金を集める仕組み。自己資金の少ない民間事業者などが、新しい事業の立ち上げや商品の開発に取り組む際の資金調達に有効な手法の一つ。

語句説明

法定外公共物

道路、河川、湖沼、海浜等の公共物のうち、道路法、河川法等の適用を受けないもの。一般には、里道(赤道)や水路などがこれに当たる。

生涯学習交流館の利用方法の見直し

質問者 望月 賢一郎 (共産党)

平成31年2月定例会で清水区の生涯学習施設の利用の見直しに係る条例改正案の提出を見送った理由は何か。また今後、条例改正案の検討期間をどの程度設けるか。

答弁 施設利用の見直しに当たり、平成30年8月から11月にかけて実施した説明会や12月中旬からのパブリックコメントなどを通じ、「見直し案における利用申込み時期では、計画的な学習活動に支障がある」などの様々な意見をいただいた。

これらの意見を受け、生涯学習の推進のために、より利用しやすい仕組みを考える必要があると判断し、その検討には時間が必要であることから、条例改正を見送った。

現在の見直し案を基に、より利用しやすい仕組みについて検討しており、検討期間については現時点では未定である。

イエローチョーク作戦

質問者 山梨 渉 (公明党)

犬の糞に関する苦情件数及びその対策はどうなっているか。また、イエローチョーク作戦の導入についてどのように考えるか。

答弁 29年度の犬の糞に関する苦情件数は89件であった。本市では、放置される犬の糞への対策に悩む個人や自治会・町内会からの相談を受け、対策に関する情報提供や警告に用いるプレートやチラシの配布、市ホームページによる注意喚起等を行っている。

イエローチョーク作戦は、放置される犬の糞への対策として効果が期待される新しい取組である。発祥の地である京都府宇治市では地域住民が主体的に取り組み、市はその活動を支援し、少ない経費で大きな効果を上げている実績がある。本市でも先行事例の手法等を調査し、積極的に情報提供を行うことで、対策に取り組む皆さんを支援していく。

語句説明

イエローチョーク作戦

チョークを使って放置された糞を強調することで飼い主に警告し、マナー向上を促す取組。手順としては、路上に放置された糞を黄色いチョークで囲み、発見日時を書き込む。その後、時間を空けて再度確認し、糞がまだあるときは確認した日時、ないときは確認日時とともに「なし」と書き込むというもの。

語句説明

加配教員

習熟度に応じた少人数指導等の実施、いじめや不登校等への対応など、学校が個々に抱える問題解決のために学級担任等の基本的な教職員定数とは別に特例的に措置しているもの。

おくやみ窓口の設置

質問者 加藤 博男 (公明党)

ご遺族が窓口で行う手続きの負担軽減への取組が全国で少しずつ始まっているが、本市の現状と今後の取組はどのようなか。

答弁 現在、各区役所の窓口では、ご家族が亡くなられた際に必要となる手続きの種類、窓口場所、方法などをまとめた一覧表をご遺族に配付し案内している。

しかし、一度に多くの手続きを要するご遺族の負担は大きく、本市でも市民の皆さんに寄り添ったサービスへの具体的な対応が必要と考え、若手職員を中心に検討を開始し先進都市への視察調査などを行った。

今後は、先進都市の事例を参考に、各区役所と手続きに係る各局で早急に具体的な方法を整理し、おもてなしコンシェルジュと連携した、市民の皆さんに寄り添ったサービスが提供できるよう取り組んでいく。

お知らせ

会派結成

2月14日付で「創生静岡」が結成されました。構成員は、志政会に所属していた白鳥実議員、風間重樹議員、石井孝治議員及び「山と町」安全の会に所属していた安竹信男議員です。

3月4日付で「会派世界」が結成されました。構成員は、自民党に所属していたさいとう佳代議員です。

議員辞職

3月29日付で、鈴木節子議員(共産党)及びさいとう佳代議員(会派世界)は静岡県議会議員選挙に立候補したため、静岡市議会議員を失職しました。

市立小中学校における正規教職員の増員

質問者 鈴木 節子 (共産党)

教職員の多忙解消には正規教職員の増員が必要と考えるが、正規教職員数は近年どう推移しているか。また、多忙解消に対しどのような問題意識を持っているか。

答弁 28年度は総教職員数2,967人に対し正規教職員数2,770人、29年度は2,956人に対し2,737人、30年度は2,964人に対し2,728人である。

本市では教職員の欠員が生じにくい環境となるよう、新規採用者の増員や再任用者の活用などに取り組んでいる。また、加配教員の数を文部科学省に要求し、29年度は9人、30年度は5人の増員を認められるなど、教職員全体数の増加も図られている。加えて、教職員定数のさらなる拡充などを国に求めており、引き続き、教職員の働きやすい環境を整備していきたいと考えている。

語句説明

おもてなしコンシェルジュ

市役所静岡庁舎の来庁者に積極的に声掛けをし、窓口への案内や付き添いを行う職員。

30年度は実証実験として、8月から1月までの間、月曜日及び金曜日の午前10時から正午に職員を配置した。

会派名

- 自民党＝自由民主党静岡市議会議員団
- 志政会＝志政会
- 公明党＝公明党静岡市議会
- 共産党＝日本共産党静岡市議会議員団
- 創生静岡＝創生静岡
- 緑の党＝緑の党グリーンズジャパン

語句説明

幼児教育・保育の無償化

子育て世代の経済的負担を軽減し、少子化対策に資するものとして、令和元年10月から幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳までの全ての子ども、及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもの利用料を無償化する。

無償化に伴い、3歳から5歳までの給食費が全額実費負担となる。このため、こども園や保育所で保育を受けている3歳から5歳までの子どもの給食費のうち、これまで利用料に含まれていた副食分が実費負担となる。3歳から5歳までの幼稚園やこども園で教育を受けている子どもや0歳から2歳までの子どもの給食費の取扱いに変更はない。

保育所等の給食費負担

質問者 寺尾 昭 (共産党)

幼児教育無償化の一方で、給食費が全額実費負担となることにより、保護者の負担が増えるのではないか。

【答弁】 幼児教育の無償化に伴い、保育所等の全ての施設において3歳から5歳までの子どもの給食費が全額実費負担となる。全額実費負担により、生活保護世帯やひとり親世帯等の低所得世帯については、これまでの保育所等の利用料より負担が増えてしまうため、国の制度により給食費の実費負担が免除される。

また、本市独自の保育所等利用料の減額により、給食費が実費負担になるとその負担額が従来の利用料を上回る世帯に対しては、市が独自に上回る分を補助することで保護者負担が増えることがないよう対応していく。

会議を傍聴してみませんか

市議会の会議は簡単な手続きで、どなたでも傍聴していただくことができます。本会議は静岡庁舎本館4階傍聴席前にて開会時刻の30分前から受付をしていますので、ぜひお越しください。

次回定例会の予定は8面に掲載しています。

詳しくは調査法制課(☎221-1481)までお問い合わせください。

【30年度の本会議傍聴者数】

4月臨時会	6月定例会	9月定例会	11月定例会	2月定例会	本会議合計
2人	167人	67人	91人	131人	458人

主な議案

2月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。

第3次総合計画後期実施計画への架け橋予算

○平成31年度静岡市一般会計予算

31年度は、第3次総合計画後期実施計画の幕開けとなる重要な年度であるため、「世界に輝く静岡」の実現に向け、財政規律を堅持しながら、5大構想や人口活力の維持対策などの事業を強力かつ円滑に推進する必要があります。そこで、SDGsの中長期的な視点を活用し、持続可能な都市経営、行財政運営の実現を目指して、①「世界に輝く静岡」の実現に向けた第3次総合計画後期実施計画の幕開け、②第3次行財政改革後期実施計画の確実な実施、③アセットマネジメントアクションプラン(第1次)の着実な推進、④国の交付金や有利な市債の積極的な活用、⑤市債残高の適正管理、という5つの方針のもとに予算を編成しました。

一般会計の予算規模は、3,180億円で、前年度に比べ58億円、1.9%の増となり、過去最大の予算規模となりました。

これは、消費税の引上げへの対応としてプレミアム付商品券事業の実施や幼児教育無償化などにより、補助費等が約23億円、12.4%増加し、扶助費が約8億円、1.2%増加したことなどによるものです。

国の補正予算を活用

○平成30年度静岡市一般会計補正予算(第6号)

国の補正予算を活用して、国道の道路整備事業や小中学校校舎トイレの改修事業に要する経費などを計上するとともに、財政調整基金積立金の増額のほか、職員給与費の減額等を計上し、30年度の累計予算額は3,232億4,742万円となりました。

中吉田学校給食センターの再開

○静岡市立学校給食センター条例の一部改正について

休止していた中吉田学校給食センターの再開に伴い、所要の改正をするものです。

歯と口腔の健康づくり

○静岡市歯と口腔の健康づくりの推進に関する条例の制定について

歯と口腔の健康づくりについて、基本理念や市民及び保健医療等関係者等の役割並びに歯科医療等関係者及び市の責務を明らかにするとともに、歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的かつ効果的に行うため、条例を制定しようとするものです。

中小企業・小規模企業等の振興

○静岡市中小企業・小規模企業振興条例の制定について

中小企業・小規模企業等の振興について、基本理念や市、中小企業・小規模企業等、支援機関及び市民等の責務等を明らかにするとともに、中小企業・小規模企業等の振興とその持続的な発展を総合的に行うため、条例を制定しようとするものです。

国民健康保険料賦課限度額の引上げ

○静岡市国民健康保険条例の一部改正について

静岡市国民健康保険運営協議会の答申を踏まえて保険料率を見直すとともに、国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、賦課限度額の引上げ等について必要な事項を改めるため、所要の改正をするものです。

放課後児童クラブ支援員の資格要件緩和

○静岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準省令の改正に伴い、放課後児童健全育成事業所に置く放課後児童支援員の資格要件について、所要の改正をするものです。

議員研修会



市議会では、議員の政策立案能力の一層の向上を目指して、議員研修会を実施しています。

2月27日、今川義元公生誕五百年祭推進委員会委員長の小和田哲男(おわだてつお)静岡大学名誉教授を迎え、「今川義元公生誕五百年祭」の機運を高めるとともに、歴史文化のまちづくりの参考とするため、「駿府繁栄の礎を築いた今川氏の功績」と題した研修会を開催しました。

研修会では、今川氏が足利将軍家の分家という名門であり、駿河・遠江・三河の三か国を領有する東海一の戦国大名に上り詰めるまでの過程や、優れた領国経営により駿府今川館を中心に駿府の城下町が繁栄していたことなど、今川氏復権の参考となるお話を伺いました。

子ども模擬議会を開催しています



静岡市議会では、将来の静岡市を担う子どもたちが市議会の役割を知ること、市議会への興味や関心を高めることができるよう、定例会会期中を除き、市内小学6年生を対象とした「子ども模擬議会」を開催しています。

模擬議会では、議会のしくみや役割等について学んだ後、議員役と市職員役に分かれて、定例会の総括質問の場面を体験します。

子ども模擬議会については、毎年度当初、市内各小学校宛てにご案内をしています。詳しくは、調査法制課(☎221-1481)までお問い合わせください。

【近年の開催実績】

	学校数	参加クラス数	参加人数
30年度	18校	45クラス	1,253人
29年度	17校	45クラス	1,208人
28年度	16校	41クラス	1,143人

常任委員長報告

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。各常任委員長報告における委員の意見や要望の主なものは次のとおりです。

総務委員会

【2月21日報告】

- *西島の津波避難タワーは住民が待望している施設であるので、住民のニーズを反映したタワーを早期に建設すること。
- *新清水庁舎PFI等アドバイザー業務について、新清水庁舎を災害に強い建物にすることを第一とした上で、災害発生時には民間収益施設等も行政に協力するよう要求水準書の中で求めていくなど、官民の協力により周辺エリア全体の防災力が向上するように取り組むこと。

【3月20日報告】

- *厳しい財政運営が続いているため、行財政改革やアセットマネジメントの推進、民間活力の活用、事務事業の見直し・統合、市税等の収納率を引き続き向上させることなどにより、可能な限り自主財源の確保に努めること。
- *防潮堤の早期整備について、市民の声をしっかり県に届けるよう取り組んでいくこと。
- *旧青葉小学校跡地利活用推進事業について、駿府城公園の中でもまちづくりの核になるゾーンであるため、事業を進めるに当たっては広く市民の声を聴くこと。
- *ふるさと納税について、物(モノ)ばかりでなく、体験型などの事(コト)による返礼にシフトし、シティプロモーションの観点から交流人口増、寄附額増に繋げること。

企業消防委員会

【2月21日報告】

- *消火栓の設置工事のように事務手続き等が水道、消防、道路など複数の部局にまたがる工事は、市民の生命・財産を守るため、部局間の連携を密にして、予定どおり進めること。
- *損害賠償請求控訴事件に係る和解に関連して、様々な救助事案に対応できるよう今後も訓練に努めるとともに、広域消防として十分な活動ができるような組織運営を行うこと。

【3月20日報告】

- *水道料金の値上げはやむを得ない部分もあるが、市民の皆さんの理解が得られるよう、外部委託のあり方の見直しなどによるコストダウンや国庫補助金の活用などに最大限取り組みこと。
- *下水道管の耐震化について、地震時に汚水があふれるなどの環境汚染の減少にもつながることから、伸縮性のある継手の設置など、重要管路の耐震化を計画的に進め、工事を推進すること。
- *高度な消防力を発揮するため、人材育成ビジョンの見直しに合わせ、各部署にスペシャリストを配置できるよう人材育成を進めるとともに、火災予防普及活動には豊富な経験が有効になるので、再任用職員の配置を検討すること。
- *公務災害防止に関連して、今年度も公務における受傷事案があるので、消防職員、消防団員も含めて、訓練を通じて事故防止を十分に行うこと。

厚生委員会

【2月21日報告】

- *がん検診事業について、早期発見、早期治療につながる検診は大変重要であるため、引き続き注力すること。特に、女性特有のがんに対しては、働いている女性が受診する機会を逸することのないよう、医療機関の受入れ態勢を整備すること。
- *私立こども園・保育所等事故防止等推進事業費助成について、長時間労働かつ責任を担う保育士の労働環境改善や事故が起こらない環境への改善を求めるとともに、助成を受けた午睡中の事故防止備品についても効果の検証を行うこと。

【3月20日報告】

- *生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業では、アクティブシニアの活躍及び多世代間交流の実現に向けて、関連部局で目標を共有し、着実に事業を実施すること。
- *難病医療費支給事業について、県から市への事務移譲後の適切な対応を評価するとともに、今後は日常生活や防災面で患者家族の負担軽減などのため、職員配置を含め対応力の強化を図っていくこと。
- *児童クラブ運営事業では、支援員の処遇及び施設の改善について、定期的に現場に足を運び、支援員や保護者等の意見を反映させ、安心して利用できるよう取り組むこと。
- *子ども医療費助成について、今後も県に対して積極的に情報提供を求め、支援や協力を要請するとともに、県と合意した助成を受ける期間経過後の対応についても、早期に県と協議を進めること。

市民環境教育委員会

【2月21日報告】

- *要・準要保護児童扶助費について、入学準備金の入学前支給が保護者に浸透したことで、必要な時に必要な支援が行われるようになったことを評価する。利用者へのさらなる周知に努めること。
- *家庭では洋式トイレが普及し子どもも洋式トイレに慣れていることから、小中学校校舎トイレリフレッシュ事業の実施に当たっては、財源を集中的に投資し施設整備を進めること。

【3月20日報告】

- *高校生まちづくりスクールについて、高校生に対してまちづくりへの積極的な参加を促すとともに、スクールに参加した高校生が卒業後も活躍できるようなフォローを行うこと。
- *生涯学習交流館の使用料や利用方法の見直しに当たっては、利用団体と十分に協議すること。
- *使い捨てプラスチックからの転換推進事業に関して、ペットボトルやレジ袋の削減などの啓発を行うとともに、市として削減の数値目標を示すこと。
- *不登校対策推進事業について、子どもの状態にあわせてきめ細かな対応をするとともに、訪問教育相談員による丁寧な対応を行うこと。

観光文化経済委員会

【2月21日報告】

- *駿府城公園の発掘調査に関連した「きゃっしる」の今後の運営では、周辺の巽櫓(たつみやぐら)や坤櫓(ひつじさるやぐら)との兼ね合いや駿府城天守台の整備方針について考慮しながら、柔軟な対応を行うこと。
- *野生鳥獣被害対策事業について、被害額と被害面積は減少しているものの、狩猟者の減少や高齢化という課題があるため、ICT機器の導入など他都市の先進事例を学び、引き続き農家や狩猟者の負担を減らす工夫に努めること。

【3月20日報告】

- *歴史文化施設建設事業に関して、引き続き県との情報共有に努めるとともに、駿府城跡天守台発掘調査見える化事業では、エリア全体をフィールドミュージアムとらえた野外展示化の検討を行うこと。
- *駿河湾フェリーの運航支援については、子どもへの利用促進キャンペーンなど様々な企画を引き続き展開し、利用者の掘り起こしに努めること。
- *海洋文化施設建設事業がPFI手法で進められるに当たって、ランニングコストや建設規模を精査する必要があるため、用地取得や地盤調査及び土壌汚染調査の結果について、市民や議会に十分に説明すること。
- *オクシズの森林整備事業については、森林環境譲与税導入による担い手の確保、木材利用の普及促進及び啓発などの事業を効果的に実施し、本市の広大な山林が適切に管理されるとともに、オクシズの地域活性化につながるよう取り組むこと。

都市建設委員会

【2月21日報告】

- *浜川等の河川改修事業について、台風や豪雨災害が頻発しているため、河床や河口の掘削などにより安心安全につながる取組を行うこと。
- *東日本大震災の教訓により地籍調査の重要性が増していることから、取組を加速させること。

【3月20日報告】

- *静岡鉄道沿線における交通環境改善検討事業については、交通弱者の移動手段確保という追分・大坪地区の皆さんの強い要望を受け止め、新駅設置について交通事業者と綿密な協議を重ねること。
- *御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発事業は、民間の投資を呼び込むとともに中心部の賑わいの活性化や若者の人口流出に歯止めをかけるなど高い事業効果が期待できるため、景観や移動空間の整備を含め、これまで以上に力を注ぐこと。
- *鯨ヶ池周辺地区保全活用については、新静岡インターチェンジとの連携や賤機山などの自然を守ることなど、具体的に目指す姿を示し、地域の声を聴くとともに、スピード感をもって対応すること。
- *市営住宅については、市民の皆さんの大切な財産、資源として生かすため、空き部屋への対策に本腰を入れて取り組むこと。また、解体されずそのままになっている市営住宅は防犯・防災や景観の観点から、時期を前倒しで解体すること。

市議会のことが5分でわかる!

PR動画「静岡市議会ってどんなところ?」が完成しました!

静岡市議会は、議会と市民の皆さんとの距離を縮めるため、市議会の概要を紹介・説明する動画を制作し、静岡市広報TV YouTubeにて公開しましたので、ぜひご覧ください。

- 主な構成
- 市民、市役所、市議会との関係
- 議員定数
- 議会のスケジュール、定例会の流れ
- 本会議、委員会
- 広報
- (傍聴、インターネット中継、市議会だより)



URL:http://www.city.shizuoka.jp/281_000157.html



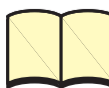
本会議 生放送・録画放送

生放送(LIVE)・録画放送(VOD)をご覧ください。
http://www.city.shizuoka.jp/000_000269.html



総括質問ダイジェスト版放送

コミュニティFMラジオ局で放送予定です。
「マリンバル」(76.3MHz) 「FM-Hi!」(76.9MHz)
放送日時等詳細は決まり次第市議会ホームページに掲載します。



市議会だより発行

6月定例会号は9月1日発行予定です。

2月定例会提出議案の会派別賛否一覧

2月定例会で審議した市長提出議案170件、議員提出議案3件、請願2件の審議結果は、次のとおりです。

(○=賛成、×=反対、△=賛否双方)

件名	会派名							議決結果
	自民党	志政会	公明党	共産党	創生静岡	緑の党	会派世界	
平成30年度静岡市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	×	△	○	-	可決
平成30年度静岡市電気事業経営記念基金会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度静岡市土地区画整理清算金会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度静岡市母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度静岡市公債管理事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度静岡市競輪事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度静岡市国民健康保険事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度静岡市簡易水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度静岡市農業集落排水事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度静岡市駐車場事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度静岡市介護保険事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度静岡市介護保険サービス会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度静岡市中央卸売市場事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度静岡市後期高齢者医療事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度静岡市病院事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度静岡市水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度静岡市下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市一般会計予算	○	○	○	×	△	×	○	可決
平成31年度静岡市電気事業経営記念基金会計予算	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市土地区画整理清算金会計予算	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計予算	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市公債管理事業会計予算	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市競輪事業会計予算	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市国民健康保険事業会計予算	○	○	○	○	×	○	○	可決
平成31年度静岡市簡易水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市農業集落排水事業会計予算	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市駐車場事業会計予算	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市介護保険事業会計予算	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市介護保険サービス会計予算	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市中央卸売市場事業会計予算	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市後期高齢者医療事業会計予算	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市立静岡病院事業債管理事業会計予算	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成31年度静岡市下水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	-	可決
静岡市歯と口腔の健康づくりの推進に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市中小企業・小規模企業振興条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市個人情報保護条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市附属機関設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市職員定数条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市職員の分限に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市国民健康保険診療所条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市女性会館条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市市民活動センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市市民文化会館条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市市民文化会館前駐車場条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市民ギャラリー条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡音楽館条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡科学館条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市生涯学習施設条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市東海道広重美術館条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市総合運動場条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市体育館条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市城北運動場条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市立学校等グラウンド夜間照明施設条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市清水ナショナルトレーニングセンター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市清水蛇塚スポーツグラウンド条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市スポーツ広場条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市キャンプ場条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市多目的スポーツグラウンド条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市清水水産総合センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市テニス広場条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市清水社会福祉会館条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市地域福祉交流プラザ条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市地域福祉共生センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市老人福祉センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市世代間交流センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市立子ども園条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市こころの健康センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市障害者歯科保健センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市立清水病院条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市急病センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決

件名	会派名							議決結果
	自民党	志政会	公明党	共産党	創生静岡	緑の党	会派世界	
静岡市廃棄物の処理及び減量に関する条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市資源循環型施設条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市霊柩自動車利用条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市営墓地条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市納骨堂条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市勤労者福祉センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市工芸と歴史の体験施設「職匠匠宿」条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市清水産業・情報プラザ条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市産学交流センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市こどもクリエイティブタウン条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市温泉条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市温泉浴場条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市ふれあい健康増進館条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市梅ヶ島コンヤの里レクリエーション施設条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市日影沢親水園条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市リパウェル井川リフト条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市南アルプス井川オートキャンプ場条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市都市山村交流センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市三保真崎グラウンドゴルフ場条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
港湾会館清水日の出センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市南アルプス赤石温泉白樺荘条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市農業集落排水処理施設条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市清水宮農飲雑用水施設条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市林業センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市漁港管理条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市広野海岸公園条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市中央卸売市場業務条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市都市公園条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市立日本平動物園条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市有度山総合公園運動施設条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市自転車等駐車場条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市自家用有償旅客運送自動車条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡ヘリポート条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市道路占用料条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市準用河川流水占用料等徴収条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市海岸保全区域内占用料及び土石採取料徴収条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市営住宅条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市改良住宅管理条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市立学校給食センター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市博物館条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市自然の家条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市浜石野山センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市文化財資料館条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市三保松原文化創造センター条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市水道事業給水条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市技術上の監督業務を行わせる水道の布設工事等を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市下水道条例の一部改正について	○	○	○	×	○	×	○	可決
静岡市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市青少年問題協議会条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市清水防災センター条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市生涯学習センター、静岡市南部勤労者福祉センター及び静岡市小島老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市桜の園(身体障害者福祉施設)、静岡市桜の園(重度障害者生活訓練ホーム)及び静岡市桜の園城北館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市梅ヶ島高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市文化・クリエイティブ産業振興センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市梅ヶ島新田温泉浴場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	-	可決
港湾会館清水日の出センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	-	可決
損害賠償の額の決定について	○	○	○	○	○	○	-	可決
損害賠償請求控訴事件に係る和解について	○	○	○	○	○	○	-	可決
市道路線の廃止について(大谷改良区28号線)	○	○	○	○	○	○	-	可決
市道路線の変更について(瀬名古瀬名団地3号線ほか10件)	○	○	○	○	○	○	-	可決
市道路線の認定について(丸子一丁目9号線ほか5件)	○	○	○	○	○	○	-	可決
包括外部監査契約の締結について	○	○	○	○	○	○	-	可決
静岡市地方税滞納整理機構規約の変更の協議について	○	○	○	○	○	○	-	可決
清水港内の公有水面埋立てに関する意見について	○	○	○	○	○	○	-	可決
地方独立行政法人静岡市立静岡病院第2期中期計画の認可について	○	○	○	○	○	○	-	可決
人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	-	賛成
静岡市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	-	同意
静岡市監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	-	同意
静岡市農業委員会委員の任命について(20件)	○	○	○	○	○	○	-	同意
静岡市が「対策推進条例」の制定について	○	○	○	○	○	○	-	可決
国民健康保険制度に関する意見書	×	×	×	×	×	×	-	否決
2019年10月からの消費税率10%への増税中止を求める意見書	×	×	×	×	×	×	-	否決
辺野古新基地建設工事を政府に意見書をあげる請願	×	×	×	×	×	×	-	不採択
清水庁舎等の移転場所についての請願書	×	×	×	○	△	○	-	不採択

自民党=自由民主党静岡市議会議員団(24人)※3月3日までは25人、志政会(6人)※2月13日までは9人、公明党=公明党静岡市議会(6人)
 共産党=日本共産党静岡市議会議員団(5人)、創生静岡(4人)※2月14日会派結成、緑の党=緑の党グリーンズジャパン(1人)、会派世界(1人)※3月4日会派結成、
 山と町=「山と町」安全の会(1人→0人)※2月14日創生静岡へ合流

陳情審査結果

件名	結果
公平な放射線教育を求める陳情	不採択

静岡市がん対策推進条例を全会一致で可決しました



2人に1人がかかると推計されているがんは、疾病による死因の第1位であり、市民の生命や健康に対する脅威となっています。平成18年6月にはがん対策の一層の充実を図るため、がん対策基本法が成立し、平成19年4月に施行されました。また、静岡県では、がん対策を総合的に推進するため、法に基づく静岡県がん対策推進計画を策定し、平成26年12月には県議会議員提案による静岡県がん対策推進条例が制定されました。

本市では、これまで法や県の計画に基づき、がん対策に取り組んできましたが、生涯を通じて健康で自分らしく生活できるまちづくりを進めるためには、がんの予防や早期発見、がん教育の推進、がん患者とその家族の心に寄り添った支援など、がん対策を積極的に進める必要があります。

このような問題意識のもと、市民や保健医療関係者、事業者、市が一丸となって、がん対策に取り組むため、静岡市議会では議員提案による条例制定の準備を進めてきました。

平成30年8月より7回にわたって開催した検討会では、がん対策に携わる医療関係者、患者団体、経済団体などを招いた意見交換会を開き、条例案に対する議論を重ねるなどして、条例の策定を進めてきました。

平成31年2月定例会において、議員提案による政策条例「静岡市がん対策推進条例」を全会一致で可決しましたので、条例のあらましをご紹介します。

目的

がん対策に関し、市民、保健医療関係者及び事業者の役割並びに市の責務を明らかにするとともに、市のがん対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、市民誰もが、がんへの理解及び知識を深め、予防や早期発見に努めるとともに、がん患者が尊厳を保ちつつ安心して暮らすことのできる社会を構築するための総合的ながん対策を推進すること。

主な内容

- 責務・役割**
 - 市** ①国、静岡県、保健医療関係者並びにがん患者等関係団体との連携を図りつつ、がん対策に関する施策を実施すること。
 - ②がん対策に関する施策は、がん医療のほか、福祉、介護、教育、雇用等幅広い観点から実施すること。
 - ③喫煙、飲酒、食生活、運動その他の生活習慣及びがんの原因となるおそれのある感染症の正しい知識を持ち、がんの予防に必要な注意を払うよう努めるとともに、市が実施するがん対策に関する施策に協力し、積極的にがん検診を受診し、がんの早期発見及び早期治療に努めること。
 - ④市が実施するがん対策に関する施策に協力し、がんの予防及び早期発見に寄与するよう努めるとともに、質の高いがん医療を提供するよう努めること。
 - 市民** ①従業員及びその家族(以下「従業員等」という。)に対するがんに関する正しい知識の普及に積極的に取り組むとともに、従業員等ががんを予防し、及び定期的ながん検診を受けることができる環境の整備に努めること。
 - ②従業員等ががん患者となった場合であっても、当該従業員が勤務を継続しながら治療し、療養し、又は看護することができる環境の整備に努めること。
 - ③市が実施するがん対策に関する施策に協力するよう努めること。
- 保健医療関係者** ①喫煙、飲酒、食生活、運動などの生活習慣及び生活環境が健康に及ぼす影響の普及啓発
- ②がんの原因となる恐れのある感染症に関する知識の普及啓発
- 事業者** ①がんの早期発見の重要性に関する啓発及び広報 ②がん検診の受診が可能な医療機関等の周知
- ③がん検診を受診しやすい環境の整備 ④年齢、性別等を考慮したがん検診の受診の勧奨
- ⑤がん検診の精度管理の充実 など
- 早期発見・情報提供** 市民に対し、がん対策及びがん医療に関する適切な情報提供に努めること。
- 医療の推進** がん患者が適切な医療を受けることができるよう、必要な事業の推進に努めること。
- 在宅医療の充実** がん患者が、その居宅において療養できるよう必要な在宅医療体制の整備に努めること。
- 緩和ケアの充実** 緩和ケアの充実を図るために必要な事業の推進に努めること。
- がん患者及びその家族等への支援** がん患者の療養生活の質の維持向上並びにがん患者及びその家族の精神的な苦痛、社会生活上の不安等の軽減に資するための施策を講ずること。
- ライフステージに応じた支援** 小児期、AYA(思春期及び若年の成人)世代、高齢期等の各段階におけるがん患者に特有な身体的、精神的、心理的及び社会的問題に対し、それぞれの段階に応じた支援をするよう努めること。
- がん患者及びその家族を支える地域づくり** がんになりしても住み慣れた地域で生活ができるよう、がん患者及びその家族を支える地域づくりの推進に努めること。
- 協議会・計画** 静岡市がん対策推進協議会の設置、がん対策の推進に関する計画の策定。

条例全文は、市議会ホームページをご覧ください。 http://www.city.shizuoka.jp/281_000182.html

4月臨時会のあらまし～市議会の新体制決まる～

平成31年4月臨時会を4月25日に開催しました。

本会議では、議長、副議長の辞職に伴う選挙を行い、議長には遠藤裕孝議員、副議長には亀澤敏之議員が選出されました。続いて、常任委員会と議会運営委員会の委員、議会選出の監査委員も新たに選任され、新体制が決まりました。

臨時会では、平成31年度静岡市一般会計補正予算をはじめ、静岡市税条例の一部改正など9件の議案を審議し、表決の結果、すべての市長提出議案が全会一致または賛成多数で可決されました。

4月臨時会で審議した市長提出議案9件の審議結果は、次のとおりです。

件名	会派名						議決結果
	自民党	志政会	公明党	創生静岡	共産党	緑の党	
30年度補正予算	○	○	○	○	○	○	承認
31年度補正予算	○	○	○	○	×	×	可決
	○	○	○	○	×	×	可決
条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	承認
	○	○	○	○	○	○	可決
	○	○	○	○	×	×	可決
人事案件	○	○	○	○	○	○	同意
	○	○	○	○	○	○	同意

自民党=自由民主党静岡市議会議員団(24人)、志政会(7人)、公明党=公明党静岡市議会(6人)、創生静岡(4人)、共産党=日本共産党静岡市議会議員団(4人)、緑の党=緑の党グリーンスジャパン(1人)



議長
遠藤 裕孝



副議長
亀澤 敏之

新議員紹介

平成31年4月7日に執行された静岡市議会議員清水区補欠選挙の結果、稲葉寛之氏が当選しました。

平成31年4月8日付で、稲葉議員は志政会に所属しました。



稲葉 寛之(1期)
志政会 清水区

次回定例会のお知らせ

6月定例会は6月17日から始まります。日程は次のとおりです。

開催日	会議名	場所
6月4日(火)	議会運営委員会	第2委員会室
7日(金)	議案説明会	議場
6月17日(月)	本会議	議場
21日(金)	議会運営委員会	第2委員会室
25日(火)	本会議(総括質問)	議場
26日(水)	本会議(総括質問)	議場
27日(木)	本会議(総括質問)	議場
7月1日(月)	総務委員会	第1委員会室
	企業消防委員会	第2委員会室
	市民環境教育委員会	第3委員会室
2日(火)	厚生委員会	第1委員会室
	観光文化経済委員会	第2委員会室
	都市建設委員会	第3委員会室
8日(月)	議会運営委員会	第2委員会室
9日(火)	本会議	議場

※日程は変更になることがあります。
(最新情報は市議会ホームページでご確認ください。)
※議場・委員会室は市役所静岡庁舎本館にあります。

市民の皆さんに親しまれる市議会だよりを目指しています。お気軽にご意見・ご感想をお寄せください。

静岡市議会事務局

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
議会総務課 ☎221-1158
議事課 ☎221-1159
調査法制課 ☎221-1481
(編集元) FAX 251-9213

静岡市議会ホームページアドレスhttp://www.city.shizuoka.jp/000_000260.html

静岡市議会 検索